

夏号

2023  
令和5

No.219 6月議会特集

3月

6月

9月

12月

# かがはし

じょうえつ市議会だより

新たな形で

## 議会報告会・意見交換会を開催しました

議会での審議内容を報告する「議会報告会」と、市民の皆さんの意見をお聴きする「意見交換会」をリニューアルしました。

充実した意見交換にするための

新たな取り組み

- 議会報告を YouTube で配信。いつでもご覧いただけます。
- 来場者と議員の意見交換を大事にし、時間を長くとりました。
- より活発な意見交換となるように会場の配置を講義型から車座型に変更しました。
- 「議員と気軽にトーク」を、多くの方が手軽に参加できるように、無印良品直江津の OpenMUJI を会場にしました。
- また、気軽に発言できるように、少人数のグループに分かれて意見交換を行いました。



5月10日(水) 中郷区「ご意見を聴く会」



5月11日(木) 柿崎区「ご意見を聴く会」



5月13日(土) 無印良品直江津「議員と気軽にトーク」



議会報告会@ YouTube



今回は3会場で開催し、数多くの(119件)ご意見をお聴きして、活発な意見交換となりました。いただいたご意見は、今後の議会活動に反映させていただきます。

各会場での意見など詳しくはこちら



お聴きしたご意見の一部をご紹介します

### 少子化・若者定住対策

- ・ 育児休業中の給料を保証してほしい。
- ・ 若者の定住のため、大企業を誘致して、地元の雇用を確保してほしい。
- ・ 地元での就労促進に向けて、親が子どもに上越の魅力を伝えていくことが大事。

### 空き家問題

- ・ 空き家になる前に、自身亡き後のことを家族とよく話し合っておく必要がある。
- ・ 太平洋側で災害が発生した場合の被災者のセカンドハウスとして、当市の空き家を事前登録制で活用してはどうか。

### 地域協議会・地域独自予算事業

- ・ 地域の課題を地域協議会で解決できるのか疑問。もっと広い地域単位で協議すべき。
- ・ 地域独自の予算が本来目指している姿を市民へしっかり説明してほしい。

### 市議会議員定数

- ・ 定数32人は多い。人口規模に合わせて考えてほしい。
- ・ 議会に求められる政策立案、提言機能のため、多様な住民の意見を吸い上げることが必要で、定数を減らすべきではない。

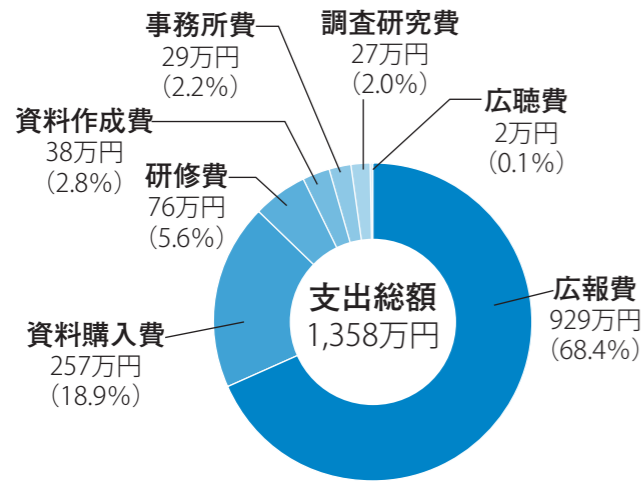
この他にも

- ・ 小中学校で貸与されているタブレットを、もっと学習で活用してほしい。
- ・ 直江津の祇園祭を盛り上げるため、屋台の運行計画などの情報発信を工夫してはどうか。

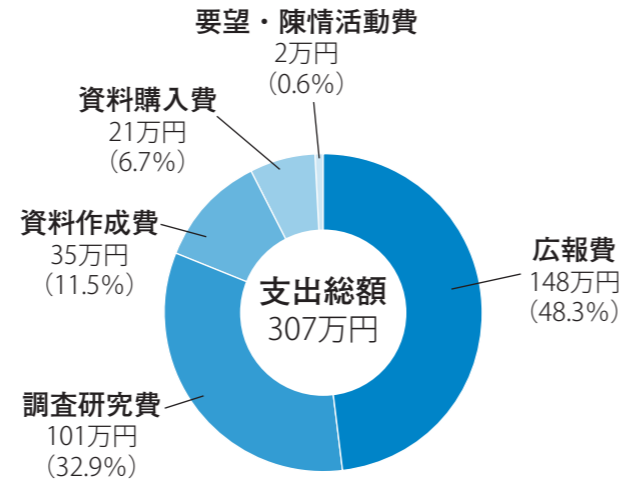
など

# 令和4年度 政務活動費の交付状況

## 議員への交付状況



## 会派への交付状況



※表記単位未満を四捨五入しているため、総数と内訳が一致しない場合があります。

## 政務活動費にはどんなものがあるの？

- 調査研究費は、市の事務、地方行財政等に関する調査研究及び調査委託に要する経費です。



- 広報費は、会派または議員が行う活動及び市政について、市民に報告するために要する経費です。



- 資料購入費は、活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費です。



- 資料作成費は、会派または議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費です。



政務活動費について詳しくはこちら



政務活動費とは、調査研究その他の活動に役立つため必要な経費の一部を、議員または会派に交付するものです。交付額は、議員（個人）に月額37,500円、会派には所属議員1人につき月額12,500円が、それぞれ半年ごとに交付されます（残額がある場合は、返還することになります）。政務活動費を充てることのできる経費の範囲は条例で定められており、市議会ホームページでも情報を公開しています。

# 委員会視察・議員勉強会の様子をご紹介します！



視察とは、直接現地に出向いて調査・研究を行うことにより、生きた体験を議員活動に役立てるものです。議員勉強会は、議員としての知見を広げるため、様々なテーマで開催しています。

## 4月12日(水) 農政建設常任委員会視察



くびき野森林組合と株式会社室岡林業を視察し、関係者から林業の現状と課題について話を聞きました。

## 6月29日(木) 厚生常任委員会視察



県が進めている上越地区産業廃棄物最終処分場の先行事例として、エコパークいずもぎきを現地視察しました。

## 4月21日(金) 議員勉強会



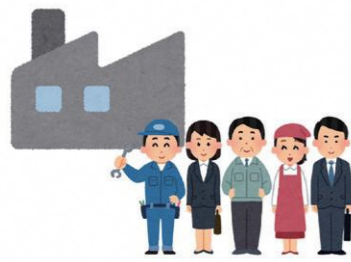
上越教育大学いじめ・生徒指導研究センター長（同大学院学校教育実践研究コース 道徳・進路・生徒指導領域教授）高橋知己氏から「いじめ、不登校の未然防止にむけて」と題し、ご講演いただきました。

## 5月19日(金) 議員勉強会



NANO BRAND 合同会社 CEO 高橋憲示氏から、「民間事業者がまちの課題を解決する、公民一体のまちづくり」に関する取り組みについて学びました。

04 point 中小企業等への支援



支援金支給上限額  
**30万円**

- 市内に事業所を有する中小企業、個人事業主、公益財団、農業者などが対象
- 令和4年度に支払った光熱水費、燃料費の合計額の26.8%に相当する額を支給

05 point 介護及び障害者施設への支援



物価高騰の影響額の  
**約5割**を支援

- 市内で介護保険施設及び障害者施設等を運営する法人が対象
- 物価高騰の影響額の概ね5割を目安として、施設の定員等に応じて支援

02 point 生活支援給付金



非課税世帯 均等割のみ課税世帯  
**3万円** **1.5万円**

- 令和5年度の住民税が非課税または均等割のみ課税の世帯などが対象
- 令和5年8月上旬から支給開始

03 point 子育て世帯への支援給付金

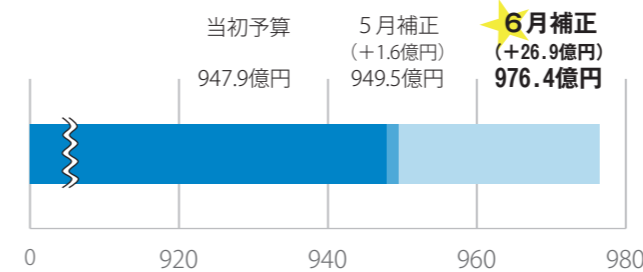


児童1人当たり  
**1万円**

- 18歳までの児童を養育する子育て世帯が対象
- 所得制限なし
- 令和5年8月上旬から支給開始



令和5年度予算額の推移



6月定例会では、エネルギー等の物価高が続いていることから、生活困窮世帯や子育て世帯、中小企業等に向けた支援に要する費用などを増額する補正予算が審査されました。今定例会の注目すべき5つのポイントをご紹介します。

01 point 畜産農家への支援

乳用牛1頭当たり  
**7.2万円**交付

- 乳用牛または肉用牛を飼養する市内の畜産農家が対象
- 粗飼料の価格上昇分に係る費用を飼養頭数に応じて交付
- 肉用牛の支援金単価は、繁殖44,000円/頭、肥育等19,000円/頭



5月臨時会

年4回の定例会のほかに、緊急に審議しなければならない議案等がある場合、臨時会が召集されます。

point 指定管理者の指定

新たな指定管理者を令和5年6月から指定

- くわどり湯ったり村、ゆったりの家  
指定管理者を公募し、応募があった3社の中から、長野県で同様の施設の管理運営等の実績がある「オーガニックリゾートホールディングス株式会社」を指定
- ヨーデル金谷  
同施設の元従業員が設立した「株式会社ミーナハラipe」を指定

次のページで  
これら補正予算等に関する  
注目の質疑をご紹介します！



令和5年度の補正予算などを審査する

# 6月定例会

3・6・9・12月に開催される定例会のうち、6月定例会の内容をお知らせします。  
6月定例会は、主に今年度の当初予算に追加や変更を加える補正予算を審査しました。

6月定例会の流れ

- 1 本会議 市長による議案の提案説明 6/6 ㊦
- 2 本会議 総括質疑 6/6 ㊦  
議員が提案された議案に対し質疑を行う
- 3 本会議 委員会付託 6/6 ㊦  
4つの常任委員会に審査を付託することを決定
- 4 委員会 常任委員会 6/7 ㊦～12 ㊦  
総務・厚生・農政建設・文教経済の各常任委員会に分かれて審査
- 5 本会議 一般質問 6/13 ㊦～16 ㊦  
議員が市政全般に渡って質問し、市の見解を聞く(関連記事12ページ)
- 6 本会議 委員長報告 6/20 ㊦  
各常任委員会での審査結果を全員で共有
- 7 本会議 採決 6/20 ㊦  
議案等の可否を決める(関連記事11ページ)

※今定例会では、「採決」の前の「討論」が行われませんでした。

市の A  
議員の Q & A  
総括・委員会質疑  
身近な話題を Pick up!



子育て世帯への支援給付金

市独自の取り組みとして、18歳までの児童を養育する全世帯に、児童1人当たり1万円を支給する経費が提案されました。

Q 物価高騰の影響をどのようにみているのか。  
A 生活必需品の節約は困難。市費で給付金を支給。

●市長／子育て世帯では、おむつや粉ミルクのほか、文具や衣料品など、子どもの成長に欠かせない必需品について節約が困難であり、物価高騰の影響を受けている。このような状況を捉え、給付金を支給することにした。



リフレッシュビレッジ管理運営費

リフレッシュビレッジ施設の指定管理者の交代に伴い、前指定管理者が所有している資産の買い取りに係る経費及び指定管理料の再算定に基づく所要額が提案されました。

Q 市が買い取る資産は何か。  
A 前指定管理者所有の事務所やマイクログラスなど。

●議員／前指定管理者から買い取る資産は何か。また、資産に関して、経年劣化、減価償却等もあると思うが、その資産の買い取り額はどのように出したのか。



くわどり湯ったり村



ゆつたりの家



目一デル金谷

Q 過去に実施した給付金で申請漏れはないか。  
A 期限後の申請漏れの相談はこれまで1件もない。

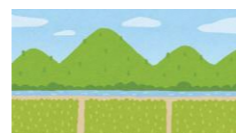
●ことも政策課／プッシュ型の支給以外の世帯には申請書を送付し、申請がない場合は再度案内をしている。また、広報紙やホームページ等でも周知している。

農業用施設等維持管理費補助金

土地改良区等が管理する農業水利施設（揚水ポンプ、ゲート等）の運転等に係る経費のうち、電気料金高騰分の一部を補助する経費が提案されました。

Q 対象者への補助はどのくらいになるか。  
A ほぼ100%近い補助になる。

●農林水産整備課／電気料金の高騰分については、国で7割、残りを県市、地元でそれぞれ3分の1ずつ負担する予定であるが、市は3分の1以上の15%を限度に補助する考えであり、ほぼ100%に近い補助になる。



上越観光物産センター

休止している上越観光物産センターの民間による今後の利活用に向け、施設の用地測量及び用地調査に係る経費が提案されました。

Q 民間による、どのような利活用を考えているのか。  
A プロポーザル方式で様々なアイデアを募集する予定。



上越観光物産センターは、平成3年に建設。施設の老朽化等により、令和5年4月1日から休止している。

●市長／立地条件の良さをいかして、民間活力により利活用を図ることが最適と判断し、民間事業者へ譲渡又は貸付を行う方針を固めた。様々なアイデアを募集するとともに、まちづくりの観点からも最適な選定をしたいと考えているため、プロポーザルの手法を予定している。隣接施設及び周辺の商業施設との関連も考慮し、市と進出事業者にとって、最も有効と思われる活用方法を模索していきたい。

粗飼料価格高騰緊急対策事業

飼料価格の高騰による畜産経営への影響を緩和するため、乳用牛又は肉用牛を飼養している市内の畜産農家を対象に、粗飼料の価格上昇分に係る費用を支援する経費が提案されました。



Q 畜産農家への支援単価をどのように設定したのか。  
A 畜種別に1頭当たりの支援単価を設定。

●市長／支援内容の検討に当たり、上越地域畜産クラスター協議会へ聞き取りを行うとともに、えちご上越農業協同組合の酪農部会・肉用牛部会から、畜産農家への支援を求める陳情をいただいた。牧草や青刈り作物などの粗飼料について、価格上昇分に係る費用を対象に支援することとし、畜種別に1頭当たりの支援金単価を設定して、飼養頭数に応じた支援金を給付する。

Q 事業対象を粗飼料価格上昇分に係る費用とした理由は。  
A 粗飼料には国による支援がないため。

●市長／配合飼料には国の価格安定制度が既に設けられている。一方で、粗飼料には同様の制度がなく、支援内容が十分でないため。

エネルギー価格高騰支援金

中小企業者、農業者等に対し、エネルギー価格高騰の影響による負担軽減を図るため、支援金を支給する経費が提案されました。

Q 市内事業者からどのような声を聴いているのか。  
A 緩やかに回復傾向だが、依然厳しい状況である。

●産業政策課／関係団体との情報共有会議の中で、企業規模が小さくなるに従って、依然厳しい状況が続いているとの現状報告があった。売上げ規模に応じた制度設計を見直して、中小企業者、農業者等が支払った光熱水費、燃料費の一部を支援金として支給する。

# 審 議 結 果

## 5月臨時会

◎：全員賛成で可決

議案等名	議決結果
議案第50号 令和5年度上越市一般会計補正予算（第1号）	◎
議案第51号 指定管理者の指定について（くわどり湯ったり村、ゆったりの家）	◎
議案第52号 指定管理者の指定について（ヨーデル金谷）	◎
報告第2号 専決処分した事件の承認について（上越市市税条例及び上越市都市計画税条例の一部改正について）	◎
報告第3号 専決処分した事件の承認について（上越市国民健康保険税条例の一部改正について）	◎
報告第4号 専決処分した事件の承認について（令和5年度上越市一般会計補正予算（専第1号））	◎

## 6月定例会

議案等名	議決結果
議案第53号 令和5年度上越市一般会計補正予算（第2号）	◎
議案第54号 上越市市税条例の一部改正について 森林環境税の賦課徴収の方法を定めるほか、軽自動車税の種別割の特定小型原動機付自転車に係る税率区分を明確化するなどの改正をする。	◎
議案第55号 上越市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び上越市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について 国が定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、引用する文言を整備する。	◎
議案第56号 財産の取得について（ロータリ除雪車） 安塚区で使用する車道用ロータリ除雪車2.6m級1台を取得する。	◎
議案第57号 財産の取得について（ロータリ除雪車） 牧区で使用する車道用ロータリ除雪車2.6m級1台を取得する。	◎
議案第58号 財産の取得について（ロータリ除雪車） 吉川区で使用する車道用ロータリ除雪車2.6m級1台を取得する。	◎
議案第59号 財産の取得について（除雪ドーザ16t級） 浦川原区で使用する除雪ドーザ16t級1台を取得する。	◎
議案第60号 財産の取得について（除雪ドーザ16t級） 吉川区で使用する除雪ドーザ16t級1台を取得する。	◎
議案第61号 財産の取得について（除雪ドーザ16t級） 三和区で使用する除雪ドーザ16t級1台を取得する。	◎
議案第62号 財産の取得について（除雪ドーザ14t級） 牧区で使用する除雪ドーザ14t級1台を取得する。	◎
議案第63号 財産の取得について（除雪ドーザ14t級） 吉川区で使用する除雪ドーザ14t級1台を取得する。	◎
議案第64号 財産の取得について（小学校校内ネットワーク用無線アクセスポイント機器） 市立小学校47校の特別教室へ、校内ネットワークの拡充に必要な機器を整備する。	◎
同意案第25号 上越市教育委員会教育長の任命について	◎
同意案第26号 上越市教育委員会委員の任命について	◎
同意案第27号 上越市監査委員の選任について	◎
同意案第28号 上越市公平委員会委員の選任について	◎
諮問第1～6号 人権擁護委員候補者の推薦について	◎
発議案第2号 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書	◎

### 意見書ってなに？



- 地方公共団体の公益に関して、市議会の意思を意見としてまとめた文書です。
- 今回の意見書は、市民から請願を受け、国の機関等に提出することを議員から発議しました。

### 過去にどのような意見書を提出しているの？



- 令和4年に提出した意見書は、次のとおりです。
  - ▷免税軽油制度の継続を求める意見書
  - ▷私立高校の公費（私学助成）増額を求める意見書
  - ▷30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書

意見書について詳しくはこちら



## 意見書を可決しました

### 30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に関する意見書

子どもたちが全国のどこに住んでいても一定水準の教育を受けられ、ゆたかな学びを保障するため、以下の措置を講じるよう強く要請する。



- 1 加配の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
- 2 中学校での35人学級を早急に実現することと、さらなる学級編制標準の引き下げを検討し、30人以下とすること。
- 3 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。
- 4 義務教育費国庫負担制度の国負担割合を2分の1に復元すること。

全会一致で可決し、上越市議会として国会・関係行政庁に提出しました。

## 人事案件に同意しました

### ■教育長の任命

早川 義裕氏（再任）



### ■教育委員会委員の任命

大谷 和弘氏（再任）

### ■監査委員の選任

山川 とも子氏（再任）

### ■公平委員会委員の選任

秀澤 光夫氏（再任）

### ■人権擁護委員候補者の推薦

高島 文子氏（再任）  
江村 由美子氏（再任）  
宮下 礼子氏（再任）  
平野 智子氏（再任）  
竹田 博史氏（再任）  
山岸 喜一氏（新任）

### ■選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

当選人（委員）  
澤海 雄一氏  
平川 一磨氏  
笹嶋 栄一氏  
小嶋 栄子氏  
池田 節子氏  
坂井 和昭氏  
上島 祐司氏  
佐藤 幸太郎氏  
（補充員）

# 116の視点

一般質問

一般質問とは、議員が市政全般にわたって、市長や教育長等に方針・見解・事実の説明・報告などを求めるものです。今定例会では、19人が登壇し、116の質問で論戦を繰り広げました。その中から一部抜粋して掲載します。



皆さんは、どのテーマに関心がありますか？

- 不登校特例校設置 / 子育て全国一 / アピアランスケアに対する支援 . . . . . } 13 ページ
- 広域周遊観光とサイクルツーリズム . . . . . } 14 ページ
- 空き家終活ノート / 越後田舎体験事業 / 不登校特例校設置 . . . . . } 15 ページ
- 客水 340 年の歴史と農業の課題 . . . . . } 16 ページ
- アピアランスケアに対する支援 . . . . . } 17 ページ
- 給食時のプラごみ削減 / HPV ワクチン / パートナーシップ宣誓制度 . . . . . } 18 ページ
- 冬のエネルギー価格高騰対策 . . . . . } 19 ページ
- 高齢者の外出時の移動支援 . . . . . } 16 ページ
- グラウンド・ゴルフの専用コース設置 . . . . . } 17 ページ
- 体育施設の新設・大規模改修 / 民生委員の現状と課題 . . . . . } 18 ページ
- 給食における地産地消推進 / 保育園の適正配置 . . . . . } 19 ページ
- ゼロカーボンシティ / 母子サービスの充実 . . . . . } 17 ページ
- 市の組織体制 / こども発達支援センター分室の見直し . . . . . } 18 ページ
- 耐震設計・改修への補助 . . . . . } 19 ページ
- 地域協議会と事務所の位置づけ / 過剰設備の有効活用 . . . . . } 17 ページ
- 市の農業のあるべき姿 . . . . . } 18 ページ
- 介護保険制度 / 中小河川の土砂堆積 . . . . . } 19 ページ
- 原子力発電の再稼働問題 . . . . . } 17 ページ
- 人口減少社会からの脱却策 . . . . . } 18 ページ

二次元コードを読み取ると、その議員の一般質問の動画を視聴できます。



うみがたりと連携した  
児童生徒の学びの場所  
ストラットン恵美子(久比岐野)



**問**／日本海側・新潟県内初の不登校特例校設置を積極的に進めるべきではないか。

**答**／当市の不登校児童生徒の現状は増加傾向にあり、特例校も有効な取り組みの一つとして、先進地域の視察を予定している。その効果についての情報収集し、検討を進める。

**問**／旧古城小学校の校舎を活用し、うみがたりと連携することで、アニメルセラピーやキャリア教育の効果も期待できると考えるがどうか。

**答**／検討の際、議員提案の考えも参考にしている。



上越市立水族博物館うみがたりのマゼランペンギン

## 上越市「子育て全国一」を目指して

**問**／地域限定「子育て利用券」発行の考えは？

**答**／行政と地域、市民活動団体等が連携して子育て支援に取り組んでおり、考えてはいない。

**問**／妊産婦タクシー利用助成制度を導入しては？

**答**／妊産婦の経済的負担軽減に向け、各種施策に取り組んでおり、制度導入は考えていない。

## 患者と社会を繋ぐアピアランスケアの重要性

**問**／がん治療による外見の変化を補完するウィッグや補整具の購入費用助成の考えはないか。

**答**／現時点では考えていないが、他の自治体の情報を収集し、研究を続ける。



広域周遊観光と  
サイクルツーリズム  
江口 修一(久比岐野)



**問**／こがね丸就航を受けた観光施策はどうか。

**答**／観光客の増加を見込み、長野・中京圏へのPR強化に加え、関西への取り組みを検討する。宿泊支援など、市内経済への波及に意を用いる。

**問**／サイクルツーリズムの活発化を受け、市が中心となつて、「久比岐自転車道」を活用した広域周遊観光を進めるべきだ。



こがね丸就航



東京より日本横断のサイクリスト達

**答**／県と上越三市が連携して、サイクルツーリズムに取り組んでいる。令和4年からは、「糸魚川・上越・妙高SEA T O S U M M E R」のコースとして、知名度の向上にも取り組んでいる。今後は、事業効果の検証を行うほか、自転車と鉄道との連携や、より広域的な地域を対象としたサイクルツーリズム、市内観光における移動手段としての可能性などについて、調査・研究を進めていく。



直江津海岸の夕日を堪能



「空き家終活ノート」  
をホームページに！  
杉田 勝典(公明党)



**問**／空き家対策として、専門相談窓口などを掲載した「空き家終活ノート」を市のホームページからダウンロードできるようにしてはどうか。

**答**／将来、空き家が発生しないよう意識啓発を図る上で有効なツールと認識しており、研究を進めたい。

## 越後田舎体験事業の発展を期待！

**問**／令和5年度から、事務局が上越観光コンベンション協会に移管された。農家民宿等の受入れの実情、事業発展の可能性はどうか。

**答**／農業や雪国生活を中心とした新たな体験メニューなど、魅力的な商品の開発に加え、企業研修や外国人観光客、市内小・中学生などの新たな顧客獲得に取り組んでいきたい。

## 不登校特例校を当市に設置してはどうか！

**問**／不登校児童生徒の実態はどうか。また、不登校特例校の設置について、やすづか学園との関連も含めて、考えを聞きたい。

**答**／令和4年度の小中学校の不登校児童生徒は速報値で328人。不登校特例校設置について検討を進めている。不登校特例校は児童生徒の学びの場の確保を目的とする一方、やすづか学園は居場所の確保を目的とする施設であり、両者の連携を図ることが重要と考えている。



**客水340年の歴史と  
当市の農業の課題は**

橋本 洋一（久比岐野）



**問**／関川水系土地改良区が発行した「客水三四〇年の歴史」という小冊子で、上越市には、「世界かんがい施設遺産」と「世界水遺産」の2つの遺産があることを知った。先人の努力と工夫を受け継ぐ現在の上越市の農業が直面する課題（高齢化、担い手不足、耕作放棄地、米価低迷）について、どう考えるか。

**答**／当市では、人口減少や高齢化の進行に伴い、農業者や農地面積が減少し続けている。人・物・情報などの経営資源や農業技術が継承されなくなることによる生産基盤の脆弱化が危惧されるほか、米価低迷や生産資材の価格高騰のありを受け、農業生産活動の維持が困難になることも予想される。先人が築き、継承してきた当市の農業を、将来にわたり維持・発展させ、次代へ引き継いでいくことは、今を生きる者の責務である。当市の農業を取り巻く厳しい現状を受け止めながら、各種の課題に真摯に取り組んでいかなければならぬと考えている。



**電気代減額！  
事業者等に支援金！**

宮川 大樹（みらい）



**問**／国で令和5年1月使用分から2割相当の負担軽減策として実施している電気・ガス価格激変緩和対策事業は、9月末で終了する方針だ。実態として、電気料金は特に年末年始に上昇することが懸念されるため、冬のエネルギー価格高騰対策をどうするのか。

**答**／当市のような雪国では、冬の電気使用量が多いため、市民生活に大きな影響を及ぼすと懸念している。全国市長会などを通じて、国に支援継続の要望を行うとともに、状況に応じて適切な対応を図っていく。

**問**／令和5年6月から大手電力会社が電気料金を値上げし、価格高騰が続いている中、当市がエネルギー価格高騰支援金の支給を提案したことを高く評価している。申請時期はいつからか。

**答**／令和5年7月下旬を予定している。

**問**／上越火力発電所は、次世代エネルギーの水素燃料の利活用が期待されている。発電所立地自治体としての優位性をさらに伸ばすべきでは。

**答**／高い環境性能を誇る火力発電所を有する当市は、脱炭素社会の実現に向けて、重要なエネルギー拠点としての役割を果たしていくことが期待されている。火力発電所や天然ガスの可能性について市民に啓発していくとともに、企業誘致においても、この優位性を当市の強みと捉え取り組んでいきたい。



**アピアランスケアに  
対する支援制度の創設を**

高橋 浩輔（みらい）



**問**／医療技術の進歩等により、がんの治療にあたりながら日常生活を送る方々が増えてきている。そうした方々のアピアランスケア（ウィッグや乳房補整具等）に対する支援制度を当市においても創設すべきではないか。

**答**／これまでがん相談支援センター等から情報収集をしてきたが、医療用ウィッグ等の購入費用助成に関する相談はなかったため、現時点で制度導入は考えていない。情報収集は続ける。

**問**／支援制度を必要としている方々の声は別の所にある。ウィッグ等については理美容師の方々、特にかん患者サポート美容師をはじめ最前線で患者さんたちと接している方々の所に支援を望む多くの声寄せられている。その声を聞き、制度創設に繋げるべきと考えるがどうか。

**答**／これまで医療関係者を窓口にして情報収集をしてきたが、患者さんの団体や理美容関係者等、間口を広げて意見や要望を聴く機会を令和5年度中に設けたい。

**問**／広く様々な意見を聴く中で、ニーズが把握でき根拠や効果が確認できれば、速やかに制度を創設するのか。

**答**／検討研究を進め、患者さんや医療関係者の話を聴いていく中で、当然必要となれば制度創設を考えていく。できるだけ早期に判断をしたいと考えている。



**しっかり把握すべき  
高齢者の移動の課題**

宮崎 朋子（創風）



**問**／当市の65歳以上のうち、自家用車を運転し続けることや運転免許返納への不安、病院やスーパーマーケット等への移動の不便さなどの課題を抱えた高齢者は多いと考える。第2次上越市総合公共交通計画の後期再編計画の策定では、高齢者へアンケートを実施し、しっかりと分析して計画に反映すべきと考えるがどうか。

**答**／市では利用者数に基づく評価、利用促進策の実施状況等の検証を行った上で、「上越市地域公共交通活性化協議会」で、素案の検討作業を進めている。高齢者向けのアンケートを実施する予定はないが、「市民の声アンケート」の意見や、バス利用者の乗降調査の実施、町内会や地区単位での懇談会などを通じて意見交換を行った上で、「地区公共交通懇話会」で、地域の公共交通の再編方針について意見を伺うなど、市民の声を幅広くお聴きしていく。

**問**／高齢者の快適な移動の実現には、公共交通を利用できない、または利用しない理由の調査や分析も必要と考える。加えて、心配する家族の声も反映してほしい。また、社会資本整備総合交付金事業に、地域公共交通再構築が加わったことも期待するがどうか。

**答**／市として必要な支援を提供できるよう、ご家族の心配の声、国の政策も含め、精査しながら後期計画策定に取り組む。



**小中学校の給食時の  
プラスチックごみ削減**

山田 忠晴（公明党）



**問**／小中学校の給食時に配布されるプラスチックストローを紙ストローで代替するなどして、プラスチックごみの排出量を減らせないか。

**答**／学校給食用牛乳は、県が供給事業者等の決定を行っている。今後、県内市町村と情報共有を図り、導入に向けて県に働きかけていきたい。

**HPVワクチンの男子接種**

**問**／令和2年12月からHPVワクチンの男子への任意接種が承認され、感染予防が期待される。任意接種のため接種費用が自己負担となるが、市で助成を行う考えはないか。

**答**／今後、国で男子に対する接種の効果検証を行い、費用助成について検討されるものと承知しており、現時点で助成を行う考えはない。

**パートナーシップ宣誓制度の導入**

**問**／LGBTなど性的少数者のカップルがパートナーとして誓い合ったことを証明するカード等を発行する「パートナーシップ宣誓制度」を当市でも導入する考えはないか。

**答**／市民一人一人がかげがえのない存在として尊重され、安全で安心して暮らすことができるまちの実現を目指し、新たにパートナーシップ制度を導入したいと考えており、令和5年度中の制度実施に向けて準備を進める。



**グラウンド・ゴルフの  
専用コース新設を**

飯塚 義隆（久比岐野）



**問**／高齢者の健康増進と生きがいと寄与するとし、多くの市民がグラウンド・ゴルフを楽しんでいるが、当市には専用コースがないため、近郊の河川敷や学校のグラウンド、空き地などで競技している。隣接する糸魚川市は、公益社団法人日本ゴルフ・ゴルフ協会公認コース3面を有し、妙高市では令和8年度の完成を目指し専用コースを整備中である。当市も専用コースを整備すべきと考えるがどうか。



**答**／専用コースの整備要望については、令和4年6月に上越市老人クラブ連合会から要望があったほか、令和5年4月の中郷区における移動市長室においてもお聴きしている。老人クラブ連合会とは、付帯施設としての駐車場やトイレがあり、比較的使用が競合しない、福祉交流プラザの広場を試行的に利用いただくことで、協議が整ったところである。

その中で、グラウンド・ゴルフ場に求められるニーズや課題を把握し、老人クラブ連合会とも意見交換を重ねながら、今後の整備の在り方について検討していく。グラウンド・ゴルフは、ゲートボールとともに高齢者のメインスポーツであることから、推進に向けて努めていく。





体育施設の施設・大規模改修の予算措置は？  
こんどう 彰治(政新クラブ)



問／令和4年度に競技団体と体育施設の施設の大規模改修等について勉強会を数回行ったが、令和5年度予算に反映されなかった理由は何か。

答／第3次財政計画で、投資的経費の各種スポーツ施設の整備に關し、規模や財源を含む整備手法はさらに検討を行うとして計画への掲載は見送った。計画期間中に実施しないということではなく、財源状況を勘案した上での予算措置も考えられることから、引き続き勉強会を開催し、検討していきたい。

問／勉強会に参加していない競技団体から要望があった場合の検討は。

答／施設の緊急性や必要性、建設費用の算定など、様々な検討を要するため、現財政計画への掲載は困難であり、次の計画改定に向けた検討となる。



### 民生委員の現状と課題は

問／当市における民生委員の現状と課題は。

答／民生委員・児童委員の定数は、県条例により437人と定められている。令和4年12月の改選時点で欠員が21人となっていたが、令和5年6月1日時点の欠員は15人となっている。今後とも、民生委員児童委員協議会連合会と連携を図り、委員が活動しやすい環境整備に努める。



行政の組織体制は適切か？  
丸山 章(政新クラブ)



問／副市長を4人制にする意向だが、ますます上屋を重ねるようなものである。財政健全化、他分野への予算配分等を進めるうえで、副市長4人制を取り下げるべきではないか。

答／人件費が増加する場合は、公約をはじめ、市の政策・施策の推進による成果をもって、しっかりと費用対効果の発揮につなげたい。

問／今まで八木副市長が理事を兼務してきたが、何か問題が生じたのか。私は理事を置く必要はないと考えるが、理事の必要性を聞きたい。

答／理事の職の必要性を確認し、有効に機能していることを実感したため、令和5年4月から兼務を解き、単独で理事を配置する体制とした。

問／ガス水道事業管理者は置かず、以前のように市長または副市長の兼務が良いのでは。

答／原料価格の高騰等への対応や人材育成等、様々な経営課題に対応していくため、現体制をしっかりと確保することが大事である。

### こども発達支援センター分室の見直しは

問／令和4年6月定例会で頸北4区に偏っている点を指摘したところ、早く解決したいと回答があった。具体的なスケジュールを立てたのか。

答／令和5年4月から見直しの第一歩として、分室の職員を寺町のこども発達支援センターに集約し、相談支援業務を行っている。



学校給食での上越産農産物の使用率向上を！  
安田 佳世(久比岐野)



問／小中学校の学校給食における地産地消の推進の状況はどうか。

答／令和3年度は18%だったが、令和4年度は天候の影響による野菜の生育不良などの要因から12・6%だった。第4次食育推進計画では、令和8年度までに20%とする目標を定めている。

問／上越産食材使用率向上に向けた取り組みは。

答／令和5年度は、学校給食用野菜の生産者の裾野を広げるため、参入しやすい環境づくりとして、関係者との情報交換会を実施する。使用率向上に向けて、市が率先して主導しながら、関係者と連携して取り組んでいきたい。

### 上越市保育園の適正配置について

問／上越市保育園の適正配置等に係る計画(第4期)の策定に向けた検討状況はどうか。

答／これまでの計画に基づく取り組みから明らかになった課題を整理・検証し、「安心して子育てができ、持続可能な保育環境を整える」ことを基本方針として、統合・再編と民間移管の手法により推進していく。対象となる園の保護者や地域の皆さんと意見交換等を実施するとともに、令和5年中を目標に第4期計画を策定する。児童数の減少や保育ニーズの多様化など、保育を取り巻く環境が大きく変化しているが、持続可能な保育環境を維持するため取り組んでいく。



耐震設計・改修への補助制度を  
上野 公悦(日本共産党議員団)



問／令和4年3月、県は県内で発生する可能性のある大地震を想定し、科学的な知見に基づき、様々な角度から起こりうる被害予想を調査報告書として発表した。高田平野西縁・東縁断層帯による大地震の可能性があり、極めて甚大な被害が予想されている。市民への周知と安全・安心を守るための課題をどう整理したか。また、課題解決には緊急性が求められると考える。

答／県の発表を受け、令和5年3月に「上越市耐震改修促進計画」を改定した。市民の生命・財産を守るため、令和7年度末における住宅の耐震化率92%を目標に、迅速に耐震化を進める施策が必要と考えている。

問／耐震による減災効果は有効で、県内の多くの市町村でも補助制度がある。耐震設計・改修は、市内循環型経済活性化にも資するため、補助を行っているはどうか。

答／阪神・淡路大震災の際、旧耐震基準の建物被害が約90%を占めていたことから、まずは旧耐震基準の住宅の耐震化に重点的に取り組む。耐震設計・改修の補助制度については、アンケートを実施して、住宅の段階的耐震化や除却などの対応方法を幅広く提示した上で、必要となる支援の在り方について市民ニーズを把握し、検討を進める。



ゼロカーボンシティのまちを目指して  
高山 ゆう子(みらい)



問／開園から20年のくわどり市民の森は、管理棟の太陽光発電設備が故障し、6年前から発電機で電源を賄っている。騒音がひどく指定管理者は改修を要望しているが、改修しないのか。

答／費用面から使用してきた。短期的には防音パネルの設置検討、中長期的にはポータブル蓄電池の活用など、環境に配慮した電源を研究していく。



問／発電機燃料はガソリンで、貯蔵量によって届出が必要。危険性が高いが、認識は。

答／危険物の認識はあるが、貯蔵量や届出の有無については不明のため確認する。(※)

問／当市はゼロカーボンシティを宣言しており、このような発電機の使い方は現実的でない。早急に太陽光発電設備を改修すべきではないか。

答／最新機器の研究を行い、素早く対応したい。※確認の結果、届出が必要な貯蔵量の容器を保有していたが、届出をしていなかったため、消防署の検査を受検予定である旨の回答があった。

### 子育て全国一の母子サービスを！



問／母子サービスは、充実しているか。子育てを応援する民間法人と連携して、より使いやすくなるよう、見直しも必要では。

答／官民連携の下、安心して出産・子育てができるよう、必要な支援に取り組んでいきたい。



地域自治体の地域協議会と事務所の位置づけ  
栗田 英明(政新クラブ)



問／市は自治基本条例で、地域自治区内に地域協議会と事務所を置くとしている。これは地域自治の確立を目指したものであり、市長の附属機関を作ることが目的ではない。事務所は地域協議会の事務局ではなく、地域自治区内の自治推進事務所であり、市から言えば都市内分権の権限移譲先という位置づけである。市長はどう考えるか。

答／地域協議会は市長等からの諮問や自主的審議に關して市長に意見を述べることでできる役割を持ち、事務所は市長からの分掌により事務を行うところであると考えている。

問／地域と行政の協働によるまちづくりを実践していくことが、地域の人材育成も含め優先すべきではないか。

答／「協働によるまちづくり」は自治基本条例にも掲げている上越市の自治の基本原則の一つであり、今後も推進していく。

### 公の施設の過剰設備を有効活用する仕組みを

問／公の施設の什器や設備が設置後に不要や余剰、過剰となっているケースが見受けられる。総点検し一元管理するとともに、庁内他部署や市民がリユースできる仕組みが必要ではないか。

答／すでに仕組みはできているので、活用できるよう周知に努める。



**当市の農業の行方  
4つの論点で説明を**



滝沢 一成 (政新クラブ)

問／市民の理解を深めるべく、当市の農業のあるべき姿を、使命、展望、価値、戦略・戦術という論点で説明してほしい。

答／使命 農業が当市の基幹産業としてあること。

展望 「農業の振興」と「農林水産業の価値と魅力向上」を図る。「農業の振興」では、上越らしい農業の確立と所得向上が担い手の確保・育成につながる好循環により、魅力ある持続可能な農業経営が実践されること。「農林水産業の価値と魅力向上」では、地域食材の活用や多様な主体の参画などにより、市民が地域の豊かな自然や食文化等の魅力、生きがいを実感し、心身ともに健康で充実した生活を送ることができると。

価値 活力ある農業の確立に向け、地域の特色や資源をいかした持続可能な経営が実践され、地域の農産物が市内外で高い評価を得ること。

戦略・戦術 「農業の振興」では、新規就農者等の受入態勢を整える「担い手の確保・育成」。農地の集積・集約化を推進、農業用水路等の長寿命化を推進する「生産基盤の強化・充実」。スマート農業による生産コスト削減や水稲と園芸との複合経営、環境保全型農業促進などによる「農業の収益性の向上」。「農林水産業の価値と魅力向上」では、「魅力ある地域資源の有効活用」、「食育・地産地消の推進」、「喜びと生きがいを感じられる生産活動の推進」を3つの柱とする。



**虚偽発言多く、  
まともな答弁無し！**



宮越 馨 (無所属)

問／子育て日本一を目指すと言うなら、人口減少社会からの大胆な脱却策を示せ！

答／第7次総合計画の着実な実行に努め、国の政策との整合性を取りながら粛々と進める。

問／政府の少子化対策の「こども誰でも通園制度」全国30か所のモデル都市へエントリーすべきではないか！

答／現時点で、国からの詳細な情報の提供はないが、当市の実情を勘案しつつ、モデル事業の実施についてどうするかを判断したい。

問／公共下水道整備区域の見直し縮小は、特別な事情がない限り行うべきではない。

答／見直し対象区域の皆様には、丁寧な説明を行い一定の理解を得たと考える。令和5年中に開催予定の都市計画審議会にて区域変更の最終判断をいただくことにしている。

問／市長の虚言は数々ある。NPO法人かみえちご山里ファン倶楽部は、私が市長時代に、当時の大野副市長に指示して立ち上げたもので、中川市長が立ち上げたというのは虚言だ！

答／NPO法人設立時に携わっていた者として、取り組んできた気持ちを表現しただけだ。

問／私との政策協定は、子ども年金など納得したから調印したのではないか！何もなかったような振る舞いは、元々だまそうとしたのか！

答／納得したものしかやらない。



**介護保険制度の改悪に  
どう対処するか**



平良木 哲也 (日本共産党議員団)

問／次期介護保険事業計画の作成に向け、国では介護保険サービス利用料の2割・3割負担の対象拡大や、要介護1・2の訪問・通所介護の総合事業への移行など、「保険あつて介護なし」の最悪の制度になりかねない内容が検討されているが、どう対処する考えか。

答／国は引き続き議論するとしており、結論が出ていないので、市として内容や影響を言う状況はない。

問／国の議論が進められないためにどう対処するかを聞いている。介護保険の国庫負担割合の引上げなどを国に求める点はどうか。

答／国の法定負担割合を増やしてほしいという点は、全国市長会などを通じて要望している。

**中小河川の土砂堆積等をどうするか**

問／中小河川の中には、河床の土砂堆積や樹木の生育などにより、流れへの支障が指摘されている箇所があるが、市としてどうするか。

答／中小河川の多くは県が管理しているが、市としても、土砂堆積などの確認のため河川パトロールを行っているほか、市民から通報があれば速やかに現地を確認し、県に伝えている。

問／市民からの通報への回答や現場の状況をホームページなどで公表できないか。

答／担当部局と検討したい。



**原子力発電  
新方針への対応は**



橋爪 法一 (日本共産党議員団)

問／GX脱炭素電源法がこのほど成立したが、柏崎刈羽原子力発電所から30km圏内の自治体の長として、どう対応していくか。

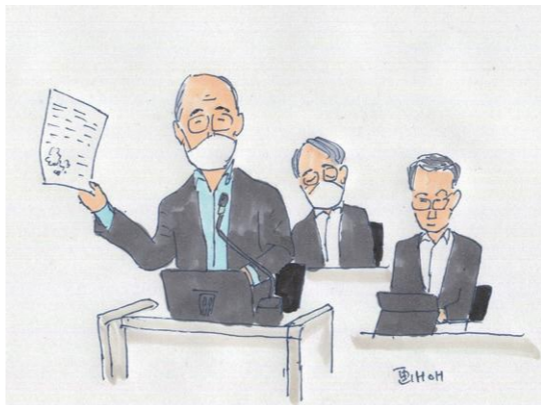
答／「原子力の活用」については、法律の成立過程において国民的議論が十分でなく、拙速だと感じている。「原発の運転期間制限40年で廃炉」という私の考えとも異なる。

問／県は「原発をめぐる3つの検証」を自ら取りまとめるとしているが、見解を聞きたい。

答／私は見解を述べる立場にない。県において、3つの検証結果の総括を早期に進め、その結果を分かりやすく県内市町村長や県民へ説明することが必要である。動向を注視していく。

問／市長選挙の際、原発再稼働をするかしないかの前に、まずは3つの検証をきちんとやるべきだというのが公約だった。市長自身の評価を明確にすべきだ。

答／見解を述べる立場にはない。ただ、東京電力には不信感を持っている。



**議員表彰が  
ありました**

全国市議会議長会と北信越市議会議長会から、永年在職議員の功績をたたえて5人の議員に表彰状が贈られました。

また、全国市議会議長会から、議長会評議員としての功績に対し、石田裕一議長へ感謝状が贈られました。



石田 裕一 議長  
評議員感謝状

こんどう 彰治 議員  
在職 25 年以上

太島 洋一 議員  
在職 15 年以上

橋爪 法一 議員  
在職 30 年以上

武藤 正信 議員  
在職 20 年以上

波多野 一夫 議員  
在職 15 年以上



# 議場コンサートを開催します



市民の皆さまから気軽に議場へ足を運んでいただき、市議会をもっと身近に感じてもらうため、議場コンサートを開催します。  
心を揺さぶる美しい歌声を、ぜひおたのしみください！

- 🎵 と き : 令和5年9月4日(月) 午前9時20分～
- 🎵 と ころ : 木田第一庁舎5階 上越市議会本会議場
- 🎵 出演者 : ジェイオー グレース ゴスペル クワイアー  
J.O.GRACE GOSPEL CHOIR
- 🎵 内 容 : ゴスペル合唱



出演者から /

ひとこと



ジェイオー グレース ゴスペル クワイアー  
私たちは、J.O.GRACE GOSPEL CHOIRです。

幅広い年齢層、いろいろな国の方が集まり、“Heart to Heart”を大切にゴスペルを歌っています。  
2005年から歌いはじめ、コンサート他、イベント、老人施設等で活動しています。

■申し込み・参加費は不要で、観覧は6階傍聴席からになります。  
詳細は、市議会ホームページ等でお知らせします。



## 次の定例会は

### 令和5年 9月4日(月)～

- 総括質疑 9月4日(月)～5日(火)
- 委員会 9月6日(水)～15日(金)
- 一般質問 9月20日(水)～25日(月)
- 採 決 9月27日(水)

※日程が変更となる場合は、ホームページ等でお知らせします。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類になり、日常の活動が活発になってきました。

市議会でも5月に新たな試みである「ご意見を聴く会」などを開催し、今まで以上に幅広い層の皆さまからご参加いただくことができました。これからも、市民にとって身近な議会であるよう努めてまいります。

広報広聴委員会 宮川大樹

次号は、令和5年10月25日発行です。



ホームページ



本会議場  
動画配信



委員会  
動画配信



Facebook